

安全・確実・迅速に 真心と一緒にお届けします

三笠運送 有限会社

〒811-2108 福岡県糟屋郡宇美町ゆりが丘4丁目1-1
TEL 092-957-6207 HP <http://mikasa-unsou.com/>

業 種 道路貨物運送業・倉庫業
従業員数 25名
資 本 金 500万円

事業内容

充実した車両陣容で建築資材、鋼材を建築現場に届けます

1976年創業。宇美町と太宰府市に拠点を置き、運送業とそれに付随して倉庫業を運営。主要顧客は大手資材会社。建築資材を建築現場まで運送しており、その範囲はドライバーが日帰りができる九州一円。天候や建築進度、交通事情の影響を受けやすい中、急な日程変更にも柔軟に対応することで顧客の期待に応えている。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 4回 (支援期間:9カ月)

- 変更の多い配車計画をDX化し、迅速化、効率化、負担軽減
- 更に請求業務、ドライバー支援業務と連携し、満足度向上



Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

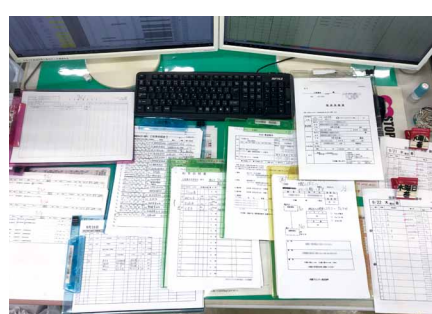
配送の4、5日前、主要顧客の事務所や現場からTEL/FAX/メールで配送依頼を受けるところから当社の業務は始まります。依頼内容(地点と距離、荷量や種類、希望時間)をドライバー勤務管理、トラック稼働状況、距離×所要時間換算表などと照らし合わせたくて配送計画を決定し、「配車表」に手書きで記入します。次に「配車表」に基づきドライバーに荷量と種類、車番、配送時間を指示し、配送完了後、顧客に料金請求、入金確認を行い、業務終了です。

これまで一連の業務は主に紙ベースで行っていました。しかし、配送予定は現場の天候や建築進度に左右されます。配送計画に変更があるとドライバー勤務管理、トラック稼働率など全体の成立性を考えながら5人がかり、汗だくで変更・修正を繰り返すのが常態化していました。

課題 ① ⑤



4t、大型トラック17台を保有 ユニック(クレーン)付も多数



依頼はTEL/FAX/メールとさまざま

Q 改善の取組み内容を教えてください

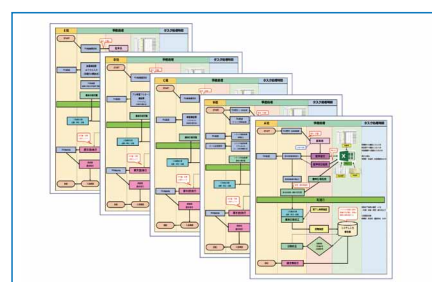
まず、主要顧客ごとに対する業務フローを書き出し、分析して流れを整理し、各社専用業務と全社共通にできる業務を層別し、整理しました。

次に、基幹業務である「配車計画」をシステム化するために、関連情報(距離×所要時間換算表、ドライバー勤務管理表、トラック稼働一覧など)をデータベース化し、「配車表」と連携させ、「受注・配車計画システム」を構想し、システム化しました。この「受注・配車計画システム」の情報は、PC画面上に表示し、関係スタッフが共有できるようにしました。

更に、荷量や種類、走行距離、従事時間から請求金額を決定する「販売システム」、トラック毎の売上げや稼働状況を把握できる「稼働管理システム」との連携も行えるようシステムに拡張性を持たせました。



紙の配車表に手書きで更新作業していた



主要顧客の業務フローを分析・整理

Q 取組んで良くなった点を教えてください

メインの
効果
(改善点)

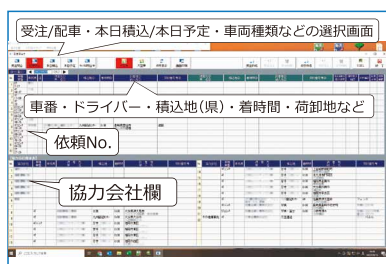
配送計画(変更)業務と受注業務の80%をシステム化でき、常時7名で対応していたこれら業務を5名で行えるようになりました。受注情報、変更情報も見える化でき、繁忙や偏りなど全体の傾向についても共有できるようになりました。受注業務システムには収支管理や伝票発行機能も持たせたので手計算、手入力に比べ格段に精度が向上し、迅速に処理できるようになりました。



受注&配車システム

副次効果

配車計画が効率化できたので、ドライバーの声を聞く時間が増え、適正な勤務環境作りやトラブル対応など、負担をかけない配慮ができるようになりました。変更状況、稼働状況の見える化によって、増車や営業活動など、次のアクションを考える客観材料を得やすくなりました。



配車システム(詳細)

今後の目標

受注業務及び配送計画業務の100%システム化を目指します。また、得意先とシステム連携を提案し、受注から一貫してシステム化できると良いと考えています。いずれAIを使った最適配車システムを構築したいと思います。

企業様の声

今回は、受注業務に特化してシステム化する事を念頭に改善改革を社内にて検討しておりましたが、どうしても運送業界の慣習により偏ったシステムになる懸念を感じておりましたので生産性アドバイザーの経験と知識を色々教えてもらい、たくさんの手応えを得る事が出来ました。

今後も引続き他の業務との連携したシステムを構築して生産性向上に務めたいと思います。



三笠運送 有限会社
代表取締役
藤野 優寿 様

生産性アドバイザーから一言

三笠運送様は業務の非効率さを改善しようと、過去にも何度かシステム化に取り組んで来ておられました。そうした取組みはなかなか結果につなげられずにはいたものの、今回はこれまでのご経験を活かして、成果の出やすいエリアに絞って業務の整理を行ったのち、改善に取組んだことで見事成果につなげられました。すでに将来構想もお持ちですので、今後の改善も楽しみにします。

生産性アドバイザー
大山 昇

